

平成27年度事務事業評価表（平成26年度振り返り）

|     |              |        |    |                |          |       |           |
|-----|--------------|--------|----|----------------|----------|-------|-----------|
| 政策名 | 計画を推進していくために | 施策番号・名 | 02 | 互いに尊重し合える意識の醸成 | 基本事業番号・名 | 02-02 | 男女共同参画の推進 |
|-----|--------------|--------|----|----------------|----------|-------|-----------|

| 事務事業番号   | 所管課係名<br>所管課長名<br>事務事業名 | 事務事業の概要<br>(根拠法令等、補助・給付区分、事業形態、近隣市状況)   | 事務事業の目的<br>(事務事業の対象、手段、意図)  | 対象指標<br>(対象の数値指標化) |             | 活動指標<br>(手段の数値指標化) |             | 成果指標<br>(意図したことの結果の数値指標化) |             | 事業費、人件費           |  |        |       |        |  | 所管課評価<br>(事務事業の方向性、項目別評価、所管課としての総合評価及び方向性) |                            |      | 全庁評価会議<br>(28年度に向けた方向性等) | 外部評価 |     |     |
|----------|-------------------------|---|---|--------------------|-------------|--------------------|-------------|---------------------------|-------------|-------------------|--|--------|-------|--------|--|--|----------------------------|------|--------------------------|------|-----|-----|
|          |                         |   |   | 指標                 | 実績値<br>(単位) | 指標                 | 実績値<br>(単位) | 指標                        | 実績値<br>(単位) | 左記「事業費(実績額)」に係る財源 |  |        |       |        |  | 人件費<br>(理論値)<br>②<br>(千円)                  | トータル<br>コスト<br>①+②<br>(千円) | 有効性  |                          |      | 効率性 | 達成度 |
|          |                         |   |   |                    |             |                    |             |                           |             | 特定財源              |  |        | 一般財源  |        |  |  |                            |      |                          |      |     |     |
| 02-02-01 | 生活文化課<br>男女共同参画係        | 根拠法令等<br>□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的<br>(国) 男女共同参画社会基本法<br>(市) 東久留米市男女平等推進市民会議条例                                      | 対象<br>男女平等推進プランが目指す男女共同参画社会の実現に向けて解決が必要な課題  | 1                  | 5           | 1                  | 397         |                           |             |                   |  | 397    | 4,240 | 4,637  | 前年度において示した方向性  | 現状維持                                       | 28年度以降方向性                  | 現状維持 | 有効性 3 効率性 4 達成度 3        |      |     |     |
|          | 生活文化課長<br>菅原 信          | 補助事業<br>□ 該当<br>□ 行政補完的(改正実施年度 年度) □ 政策的(改正実施年度 年度)<br>□ 市独自上乗せ(上乗せ・横出し) □ 国・都連携 □ その他( )<br>要綱等 □ 特財の廃止(予定定) | 手段・内容<br>東久留米市第2次男女平等推進プランについての新たな評価方法を用いて、平成25年度事業の進捗状況評価作業を行い、答申を市長に提出した。   | 1                  | 5           | 1                  | 494         |                           |             |                   |  | 494    | 4,394 | 4,888  | 評価:<br>男女共同参画社会の実現を目指したプランの推進を目的として、市民会議を設置・運営し、平成25年度事業の進捗状況評価作業を行った。<br>評価においては、課題の指摘だけでなく、効果的な事業を行った部署については表彰を行い、男女共同参画施策への更なる取り組みへの後押しとなった。  |  |                            |      |                          |      |     |     |
|          | 男女平等推進市民<br>会議運営事業      | 給付事業<br>□ 該当<br>□ 市独自上乗せ(上乗せ・横出し) □ 国・都連携 □ その他( )<br>要綱等 □ 特財の廃止(予定定)  | 意図<br>課題を明らかにし、解決のための取り組みを進める。  | 1                  | 6           | 1                  | 560         |                           |             |                   |  | 560    | 4,243 | 4,803  | 方向性:<br>市民会議によりプランの平成26年度事業の進捗状況評価作業を行い、プランの推進、男女共同参画社会の実現を図る。<br>また、市の男女共同参画施策全般に対して市民が参画して課題の検討や解決策等について検討する場でもある市民会議を通じ、平成28年度で終期を迎える現行プランの次期プラン策定をしていく。                                    |  |                            |      |                          |      |     |     |
|          | 事業形態                    | ■ 直営(委託無) □ 全部委託 □ 一部委託 □ 指定管理 □ その他( )   |   |                    |             |                    |             |                           |             |                   |  |        |       |        |  |  |                            |      |                          |      |     |     |
|          | 近隣市状況                   | ■ 小平市 ■ 東村山市 ■ 清瀬市 ■ 西東京市 □ その他( )  |   |                    |             |                    |             |                           |             |                   |  |        |       |        |  |  |                            |      |                          |      |     |     |
| 02-02-02 | 生活文化課<br>男女共同参画係        | 根拠法令等<br>□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的<br>(国) 男女共同参画社会基本法、(市) 東久留米市第2次男女平等推進プラン、(市) 東久留米市第2次配偶者暴力対策基本計画                 | 対象<br>固定的な性別役割分担意識により個性や能力を發揮することに制約を受けている市民  | 116,494            | 4,000       | 48.5               | 470         |                           |             |                   |  |        | 2,312 | 2,782  | 前年度において示した方向性  | 現状維持                                       | 28年度以降方向性                  | 現状維持 | 有効性 3 効率性 2 達成度 3        |      |     |     |
|          | 生活文化課長<br>菅原 信          | 補助事業<br>□ 該当<br>□ 行政補完的(改正実施年度 年度) □ 政策的(改正実施年度 年度)<br>□ 市独自上乗せ(上乗せ・横出し) □ 国・都連携 □ その他( )<br>要綱等 □ 特財の廃止(予定定) | 手段・内容<br>公募市民6名による会議を年間12回開催し企画内容を検討、東久留米の男女共同参画情報誌「ときめき」第53号(特集:「東久留米市男女平等・共同参画に関するアンケート調査」から特集2: 男女共同参画の今が見える数字Q&A)及び第54号(特集: 素敵なコミュニケーション術～相手も自分も大切に～)を各号4,000部発行した。 | 116,417            | 4,000       | 48.5               | 611         |                           |             |                   |  | 611    | 1,997 | 2,608  | 評価:<br>東久留米市第2次男女平等推進プランの掲げる目標を達成するために、年2回の発行に合わせて掲載内容を精査し、適切な情報提供を行った。<br>また、民間事業者等に設置を依頼し、より多くの市民が手に取ることができるよう努めた。   |  |                            |      |                          |      |     |     |
|          | 男女共同参画啓発<br>事業          | 給付事業<br>□ 該当<br>□ 市独自上乗せ(上乗せ・横出し) □ 国・都連携 □ その他( )<br>要綱等 □ 特財の廃止(予定定)  | 意図<br>固定的な役割分担意識にとらわれないように意識改革が図られる。  | 115,840            | 4,000       | 40.5               | 662         |                           |             |                   |  |        | 2,314 | 2,976  | 方向性:<br>市の男女共同参画情報誌として他に重複する啓発冊子等はなく、今後も身近な啓発資料として、内容の充実を図っていく。<br>また、配布方法等も調査・検討しながら有効活用していく。   |  |                            |      |                          |      |     |     |
|          | 事業形態                    | ■ 直営(委託無) □ 全部委託 □ 一部委託 □ 指定管理 □ その他( )   |   |                    |             |                    |             |                           |             |                   |  |        |       |        |  |  |                            |      |                          |      |     |     |
|          | 近隣市状況                   | ■ 小平市 ■ 東村山市 ■ 清瀬市 ■ 西東京市 □ その他( )  |   |                    |             |                    |             |                           |             |                   |  |        |       |        |  |  |                            |      |                          |      |     |     |
| 02-02-03 | 生活文化課<br>男女共同参画係        | 根拠法令等<br>■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的<br>(国) 男女共同参画社会基本法<br>(市) 東久留米市男女平等推進センター条例                                      | 対象<br>男女平等推進センター  | 1                  | 307         | 48.5               | 14,734      |                           |             |                   |  | 14,734 | 3,083 | 17,817 | 前年度において示した方向性  | 現状維持                                       | 28年度以降方向性                  | 現状維持 | 有効性 3 効率性 2 達成度 3        |      |     |     |
|          | 生活文化課長<br>菅原 信          | 補助事業<br>□ 該当<br>□ 行政補完的(改正実施年度 年度) □ 政策的(改正実施年度 年度)<br>□ 市独自上乗せ(上乗せ・横出し) □ 国・都連携 □ その他( )<br>要綱等 □ 特財の廃止(予定定) | 手段・内容<br>年末年始と休日(毎週火曜日)を除く午前9時～午後9時30分開館し市民の利用に供した。   | 1                  | 310         | 46.9               | 13,855      |                           |             |                   |  | 13,855 | 2,796 | 16,651 | 評価:<br>男女共同参画推進の拠点施設としての男女平等推進センターの維持管理を行った。<br>案内や展示など、センターの周知、利用しやすい環境作りを努めた。<br>会議室の利用率が増加しており、これは、受益者負担による会議室利用が伸びたことが要因となっている。  |  |                            |      |                          |      |     |     |
|          | 男女平等推進センター<br>管理事業      | 給付事業<br>□ 該当<br>□ 市独自上乗せ(上乗せ・横出し) □ 国・都連携 □ その他( )<br>要綱等 □ 特財の廃止(予定定)  | 意図<br>市民が施設を有効利用できるように、男女共同参画の総合的な拠点施設としての機能を備えた上で効果的・効率的な運営環境を整える。   | 1                  | 308         | 41.3               | 13,701      |                           |             |                   |  | 13,701 | 3,086 | 16,787 | 方向性:<br>今後も男女共同参画に関するすべての機能を併せ持っている男女共同参画推進の拠点施設としてセンターを維持管理するとともに、第2次男女平等推進プランに基づき、男女共同参画を身近なものとし、地域における実践的な活動の連携・協働・ネットワークの場として、センターの周知も含め、効率的な運営を図る。なお、会議室の貸出も受益者負担で行っており、会議室利用についても周知に努める。 |  |                            |      |                          |      |     |     |
|          | 事業形態                    | □ 直営(委託無) □ 全部委託 ■ 一部委託 □ 指定管理 □ その他( )   |   |                    |             |                    |             |                           |             |                   |  |        |       |        |  |  |                            |      |                          |      |     |     |
|          | 近隣市状況                   | ■ 小平市 ■ 東村山市 ■ 清瀬市 ■ 西東京市 □ その他( )  |   |                    |             |                    |             |                           |             |                   |  |        |       |        |  |  |                            |      |                          |      |     |     |
| 02-02-04 | 生活文化課<br>男女共同参画係        | 根拠法令等<br>■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的<br>(国) 男女共同参画社会基本法<br>(市) 東久留米市男女平等推進センター条例                                      | 対象<br>性別の違いにかかわらず個性や能力を發揮しようとする市民   | 116,494            | 674         | 48.5               | 1,809       |                           |             |                   |  | 1,809  | 3,083 | 4,892  | 前年度において示した方向性  | 現状維持                                       | 28年度以降方向性                  | 現状維持 | 有効性 3 効率性 2 達成度 3        |      |     |     |
|          | 生活文化課長<br>菅原 信          | 補助事業<br>□ 該当<br>□ 行政補完的(改正実施年度 年度) □ 政策的(改正実施年度 年度)<br>□ 市独自上乗せ(上乗せ・横出し) □ 国・都連携 □ その他( )<br>要綱等 □ 特財の廃止(予定定) | 手段・内容<br>男女共同参画推進の拠点施設として、情報及び学習機会の提供、団体及び個人の相互交流の場の提供、相談事業及び施設の提供を行った。   | 116,417            | 1,078       | 48.5               | 1,800       |                           |             |                   |  | 1,800  | 2,796 | 4,596  | 評価:<br>介護や防災、コミュニティビジネスなど、生活に直結したテーマを取扱う講座を実施することで、幅広い市民の方に男女共同参画の視点に触れる機会を提供することができた。   |  |                            |      |                          |      |     |     |
|          | 男女平等推進センター<br>運営事業      | 給付事業<br>□ 該当<br>□ 市独自上乗せ(上乗せ・横出し) □ 国・都連携 □ その他( )<br>要綱等 □ 特財の廃止(予定定)  | 意図<br>性別の違いに関わらず等しく個性や能力を發揮できるようになる。  | 115,840            | 806         | 40.5               | 1,698       |                           |             |                   |  | 1,698  | 3,086 | 4,784  | 方向性:<br>東久留米市第2次男女平等推進プランに基づき、男女共同参画の意識啓発や知識習得だけでなく、地域や地域の人々が抱える幅広い分野の課題を取り上げ、男女共同参画の視点を生かしつつ、多様な主体が連携・協働しながら課題を解決する実践的活動の取り組みを推進していく。あわせて、男女共同参画推進の拠点施設としてセンターの周知を図る。                         |  |                            |      |                          |      |     |     |
|          | 事業形態                    | ■ 直営(委託無) □ 全部委託 □ 一部委託 □ 指定管理 □ その他( )   |   |                    |             |                    |             |                           |             |                   |  |        |       |        |  |  |                            |      |                          |      |     |     |
|          | 近隣市状況                   | ■ 小平市 ■ 東村山市 ■ 清瀬市 ■ 西東京市 □ その他( )  |   |                    |             |                    |             |                           |             |                   |  |        |       |        |  |  |                            |      |                          |      |     |     |

「有効性」とは成果指標の対前年度比に基づき、「効率性」とはトータルコストの対前年度比に基づき一律に判定したものである。また、「達成度」とは「有効性」と「効率性」の判定をクロスさせることにより画一的に判定したものである。

平成27年度事務事業評価表（平成26年度振り返り）

| 政策名      |                                    | 計画を推進していくために   |   | 施策番号・名   |   | 02 互いに尊重し合える意識の醸成   |  | 基本事業番号・名   |   |                    |  | 02-02   |   | 男女共同参画の推進   |   |  |                           |                            |               |  |  |                          |  |     |      |               |
|----------|------------------------------------|--|---|--|---|---|--|--|---|--------------------|--|---|---|---|---|--|---------------------------|----------------------------|---------------|--|--|--------------------------|--|-----|------|---------------|
| 事務事業番号   | 所管課係名                              | 事務事業の概要<br>(根拠法令等、補助・給付区分、事業形態、近隣市状況)  |   |  |   | 事務事業の目的<br>(事務事業の対象、手段、意図)  |  | 対象指標<br>(対象の数値指標化)   |   | 活動指標<br>(手段の数値指標化) |  | 成果指標<br>(意図したことの結果の数値指標化)                       |   | 事業費、人件費   |   |  |                           |                            |               | 所管課評価<br>(事務事業の方向性、項目別評価、所管課としての総合評価及び方向性) |  | 全庁評価会議<br>(28年度に向けた方向性等) |  |     |      |               |
|          | 所管課長名                              |  |   |  |   |   |  | 指標   | 実績値<br>(単位)   | 指標                 | 実績値<br>(単位)  | 指標  | 実績値<br>(単位)                                     | 左記「事業費(実績額)」に係る財源                                     |   |  | 人件費<br>(理論値)<br>②<br>(千円) | トータル<br>コスト<br>①+②<br>(千円) | 前年度において示した方向性 |  |  |                          |  |     |      |               |
|          | 事務事業名                              |  |   |  |   |   |  |  |   |                    |  |   |   | 特定財源  |   |  |                           |                            | 一般財源          |  |  |                          |  | 有効性 | 現状維持 | 28年度以降<br>方向性 |
| 02-02-05 | 生活文化課<br>男女共同参画係<br>生活文化課長<br>菅原 信 | <input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的<br>(国) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律、(市) 東久留米市緊急一時保護施設運営費補助金交付要綱、(市) 東久留米市第2次配偶者暴力対策基本計画 | <input type="checkbox"/> 行政補完的(改正実施年度21年度) <input type="checkbox"/> 政策的(改正実施年度 年度)<br><input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗せ・横出し) <input type="checkbox"/> 国・都連携 <input type="checkbox"/> その他( )<br>要綱等 東久留米市緊急一時保護施設運営費補助金交付要綱 <input type="checkbox"/> 特財の廃止(予定含) | <input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗せ・横出し) <input type="checkbox"/> 国・都連携 <input type="checkbox"/> その他( )<br>要綱等 <input type="checkbox"/> 特財の廃止(予定含) | <input checked="" type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他( )<br>近隣市状況 <input checked="" type="checkbox"/> 小平市 <input type="checkbox"/> 東村山市 <input checked="" type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市 <input type="checkbox"/> その他( ) | 対象 配偶者暴力の被害者<br>手段・内容 配偶者暴力被害者支援事業として民間シェルターを対象に「緊急一時保護施設運営費補助金交付」を行った。<br>意図 男女共同参画社会の実現を妨げる配偶者暴力被害者の保護と自立を支援する。 | 住 民 基 本 台 帳 人 口 ( 外 国 人 登 録 を 含 む ・ 1 月 1 日 現 在 )<br>多 摩 地 域 民 間 シ ェ ル タ ー 利 用 者 数 | 平成26年度<br>116,494<br>(人)<br>平成25年度<br>116,417<br>(人)<br>平成24年度<br>115,840<br>(人) | 平成26年度<br>22<br>(組)<br>平成25年度<br>22<br>(組)<br>平成24年度<br>21<br>(組) | 未公表                | 平成26年度<br>200<br>(組)<br>平成25年度<br>200<br>(組)<br>平成24年度<br>200<br>(組) | 平成26年度<br>200<br>平成25年度<br>200<br>平成24年度<br>200 | 平成26年度<br>200<br>平成25年度<br>200<br>平成24年度<br>200 | 平成26年度<br>2,698<br>平成25年度<br>2,796<br>平成24年度<br>2,700 | 平成26年度<br>2,898<br>平成25年度<br>2,996<br>平成24年度<br>2,900 | 前年度において示した方向性<br>有効性 - 効率性 3 達成度 -<br>評価：民間シェルターへの補助金を交付することにより、配偶者暴力被害者の保護と自立支援につながったと考えられる。<br>方向性：配偶者暴力被害者の保護と自立を支援する取り組みは重要な課題であり、今後も継続して支援していく。 | 現状維持<br>現状維持              |                            |               |  |  |                          |  |     |      |               |

「有効性」とは成果指標の対前年度比に基づき、「効率性」とはトータルコストの対前年度比に基づき一律に判定したものである。また、「達成度」とは「有効性」と「効率性」の判定をクロスさせることにより画一的に判定したものである。